

(様式1-2)

川内村

生活拠点形成事業計画 生活拠点形成事業等

基金設置の有無:

有

設置の時期:

平成26年3月

平成26年6月時点

(単位:千円)

No.	事業番号 (注1)	事業名 (注2)	地区名 施設名	交付 団体	事業 実施 主体	直接/間接	総交付対象 事業費 (注3)	うち、福島県等 以外の者が負 担する額を減じ た額	各年度の交付対象事業費				全体事業費 (注4)	復興交付金の 交付を受けた 災害公営住宅 整備事業等の 総交付対象事 業費 (注5)	全体事業 期間 (注6)	備 考(注7)	
									平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度					
1	A - 1 - 1	災害公営住宅整備事業	宮ノ下	村	川内村	直接	(455,320) 0	<0>	(138,740)	(316,580)			449,320		25 ~ 26	単年度型	
							<455,320>	<0>	<138,740>	<316,580>							
2	A - 1 - 2	災害公営住宅整備事業	宮ノ下2	村	川内村	直接	(340,260) 0	<0>	(135,140)	(205,120)			340,260		25 ~ 26	基金型	
							<340,260>	<0>	<135,140>	<205,120>							
3	- -						(0) 0	<0>	(0)	(0)					~		
							<0>	<0>	<0>	<0>							
4	- -						(0) 0	<0>	(0)	(0)					~		
							<0>	<0>	<0>	<0>							
5	- -						(0) 0	<0>	(0)	(0)					~		
							<0>	<0>	<0>	<0>							
6	- -						(0) 0	<0>	(0)	(0)					~		
							<0>	<0>	<0>	<0>							
合 計							(795,580) 0	(0) 0	(273,880) 0	(521,700) 0	(0) 0	(0) 0					
(うち市町村交付分)							(795,580) 0	(0) 0	(273,880) 0	(521,700) 0	(0) 0	(0) 0					
(うち県交付分)							(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0					
(うち基幹事業)							(795,580) 0	(0) 0	(273,880) 0	(521,700) 0	(0) 0	(0) 0					
(うち避難者支援事業等)							(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0					
(うち避難者支援事業等)							<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>					

都道県名	福島県	担当部局名	農村振興課 土木係	担当者氏名	遠藤栄治
市町村名	川内村	電話番号	0240-38-2117	メールアドレス	eiii.endo@vill.kawauchi.lg.jp

(注1) 「事業番号」は、基幹事業については、「(制度要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、避難者支援事業等については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)-(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。

(注2) 「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。

(注3) 「総交付対象事業費」は、「交付期間」を通じての全ての事業費を記載する。ただし、復興交付金の交付を受けた災害公営住宅事業等がある場合は、交付期間にかかわらず、当該事業費を含める。

(注4) 「全体事業費」は、「全体事業期間」を通じての全ての事業費を記載する。

(注5) 居住制限者のための災害公営住宅整備事業等として復興交付金の交付を受けた事業については、復興交付金事業計画に記載された当該災害公営住宅整備事業等の総交付対象事業費を記載する。

その場合は、「総交付対象事業費」欄及び「各年度の交付対象事業費」欄は空欄とする。

(注6) 「全体事業期間」は、平成29年度以降に実施することが見込まれる事業については、平成29年度以降も含めて記載をする。

(注7) 年度間調整又は事業間流用を行った場合には、「備考」に年度間調整又は事業間流用を行った旨、その時期及び額を記載する。なお事業間流用を行う場合には、流用する(流用される)事業名も合わせて記載する。

(注8) 担当者氏名等は県及び市町村の担当者を並べて記載する。

(注9) 上段()書きは、前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段< >書きについては、自動計算される。

(注10) 各年度の交付対象事業費(中段)のうち、様式1-4で提出された年度の値が配分(申請)に係る交付対象事業費となる。

